

製品名: ヒストン H2A (リン酸化 Thr121) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab04774

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	HIST1H2AB HIST1H2AG; H2AFP; HIST1H2AI; H2AFC; HIST1H2AK; H2AFD; HIST1H2AL; H2AFI; HIST1H2AM; H2AFN; Histone H2A type 1; H2A.1; Histone H2A/p; HIST1H2AB; H2AFM; HIST1H2AE; H2AFA; Histone H2A type 1-B/E; Histone H2A.2; Histone H2A/a; Histone H2A/m; HIS
別名	
遺伝子 ID	8329/8332/8336/8969/3012/8335/3013/85235/723790/8337/92815
SwissProt ID	P0C0S8/P04908/P20671/Q96KK5/Q6F113/Q7L7L0
免疫原	抗血清は、ヒトヒストン H2A の Thr121 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 81-130

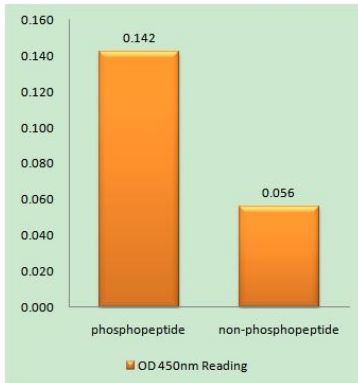
背景

ヒストンは、真核生物の染色体繊維のヌクレオソーム構造を担う基本的な核タンパク質です。4つのコアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) はそれぞれ2分子ずつ集まって八量体を形成し、その周囲に約 146 bp の DNA がヌクレオソームと呼ばれる繰り返し単位で巻き付いています。リンカーヒストンである H1 は、ヌクレオソーム間のリンカー DNA と相互作用し、クロマチンを高次構造に凝縮する役割を果たします。この遺伝子はイントロンを含まず、ヒストン H2A ファミリーに属する複製依存性ヒストンをコードしています。この遺伝子の転写産物はポリ A 末端を欠き、代わりに回文終結配列を含みます。この遺伝子は、染色体 6p22-p21.3 の小さなヒストン遺伝子クラスターに存在します。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]、機能: ヌクレオソームのコア構成要素。ヌクレオソームは DNA を包み込み、クロマチンに圧縮することで、DNA を鋳型として必要とする細胞機構への DNA のアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写調節、DNA 修復、DNA 複製、および染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNA のアクセス性は、ヒストンの複雑な翻訳後修飾 (ヒストンコードとも呼ばれます) とヌクレオソームリモデリングによって制御されます。、質量分析: N-アセチルセリンとのモノアイソトピック PubMed:16457589,PTM: カルシウム流入時に顆粒球の Arg-4 で脱イミノ化されます。、PTM: RING1 および RNF2/RING2 複合体による Lys-120 のモノユビキチン化は、エピジェネティックな転写抑制のための特異的なタグを付与し、雌哺乳類の X 染色体不活性化に関与します。これは、インプリンティングされた X 染色体不活性化とランダムな X 染色体不活性化の両方の開始に関与しています。ユビキチン化された H2A は、不活性 X 染色体クロマチンに豊富に存在します。H2A のユビキチン化は、ヒストン H3 の [Lys-27] メチル化の下流で機能します。RNF2/RING2 による Lys-120 のモノユビキチン化も紫外線によって誘導され、DNA 修復に関与している可能性があります。DNA 二本鎖切断 (DSB) 後、E2 リガーゼ UBE2N、E3 リガーゼ RNF8、RNF168 によってユビキチン基の [Lys-63] 結合を介してユビキチン化され、DNA 損傷部位への修復タンパク質のリクルートメントが誘導されます。モノユビキチン化と電離放射線誘導性の [Lys-63] 結合ユビキチン化は異なるイベントです。、PTM: Ser-2 のリン酸化は有糸分裂中に促進されます。RPS6KA5/MSK1 による Ser-2 のリン酸化は転写を直接抑制する。H3 のアセチル化は、RPS6KA5/MSK1 による Ser-2 のリン酸化を阻害する。、PTM: PRDM1/PRMT5 複合体による Arg-4 の対称ジメチル化は、生殖細胞系譜において重要な役割を果たす可能性がある。、PTM: クロマチン結合型は、有糸分裂中に Thr-121 がリン酸化される。、類似性: ヒストン H2A ファミリーに属する。、サブユニット: ヌクレオソームは、H2A、H2B、H3、H4 のそれぞれ 2 分子を含むヒストン八量体であり、1 つの H3-H4 ヘテロ四量体と 2 つの H2A-H2B ヘテロ二量体に組み立てられる。八量体は、約 147 bp の DNA を包み込む。、

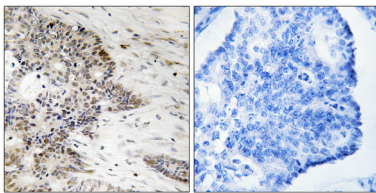
研究分野

タンパク質アセチル化

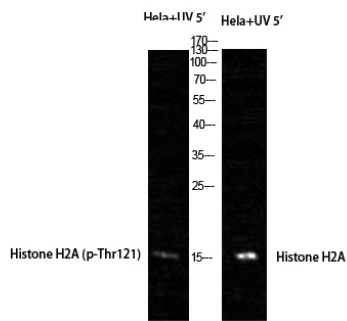
画像データ



ヒストン H2A (リン酸化 Thr121) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



ヒストン H2A (リン酸化 Thr121) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



リン酸化ヒストン H2A (T121) ポリクローナル抗体を用いた HeLa+UV 5' 細胞のウエスタンブロット解析。